

- 問1 2001年から2018年にかけての北海道の酪農に関する統計では、飼育戸数が9640戸から6140戸へと大幅に減少する一方で、生乳生産量は3640.7千tから3965.2千tへと増加しています。また、100頭以上の牛を飼育する戸数や搾乳ロボットの導入数も大きく伸びています。このような北海道の酪農で見られる変化の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 飼育戸数の減少に比例して全体の生産量が減少し、酪農から畑作への転換が進んでいる。 | 2. 環境保護の観点から機械の使用を制限し、1戸あたりの飼育頭数を減らす取り組みが進んでいる。 | 3. 労働力不足を補うために、経営規模の拡大や搾乳ロボットの導入による機械化が進んでいる。 | 4. 乳製品の需要低下に合わせ、手作業を中心とした小規模な家族経営への転換が進んでいる。 |
|---|---|---|--|
- 問2 北海道の室蘭などで発展した鉄鋼業の歴史的背景と、現在の産業構造の変化について述べた文として、背景や理由が正しく説明されているものはどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 明治時代の北海道開拓に伴い、農業機械の自給を目的として鉄鋼業が興されたが、現在は周辺国との競争に敗れ、すべての製鉄所が閉鎖されている。 | 2. 複雑な海岸線を利用した観光業と両立させるため、環境負荷の低い小規模な石炭火力を維持しながら、特殊鋼ではなく汎用的な建築用鋼材を主に生産している。 | 3. 道内産の豊富な石炭や鉄鉱石を背景に発展したが、現在は輸入原料への依存を強め、自動車部品用の特殊鋼など付加価値の高い製品に注力している。 | 4. もともと海外からの輸入原料を加工するために砂嘴の地形を利用して港を整備したが、現在は造船業が衰退し、製造品出荷額の大半が食品工業となっている。 |
|--|---|--|--|
- 問3 北海道の開拓や歴史的背景に関連して、札幌周辺の状況を説明した記述として正しいものを次のの中から選びなさい。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. アイヌ民族の言葉由来とする地名が各所に残されており、明治時代には屯田兵が配置されて石狩平野の開拓が進められた。 | 2. 本州からの移住者が開拓使の言葉で新しく命名した地名が定着しており、現在は十勝平野に代わる大規模農地となっている。 | 3. アイヌ民族の居住区を確保するため、明治政府は石狩平野を聖域として保護し、市街地の開発を禁止した。 | 4. 蝦夷と呼ばれた人々が独自の地名を付け、江戸時代に大規模な稲作を行うために石狩平野の扇状地が開発された。 |
|--|---|---|--|
- 問4 別海町を含む北海道東部の地域で、稲作や一般的な畑作よりも酪農が著しく発達した地理的な要因は何か。 (2025年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 火山灰性の土壌が広がっており、水はけが良すぎるため根菜類の栽培に特化しているから | 2. 冬の積雪量が非常に多く、豊富な雪解け水を利用して大規模な水田耕作が可能だから | 3. 夏に親潮の影響で海霧が発生しやすく気温が上がらないため、牧草の栽培に適しているから | 4. 大都市である札幌に近接しており、新鮮な牛乳を迅速に出荷できる立地条件にあるから |
|---|---|--|--|
- 問5 北海道の自然環境における気温の分布について、一月の平均気温がマイナス十二度からマイナス三度の範囲であるのに対し、八月の平均気温は十八度から二十七度の範囲となっています。沿岸部にある稚内市役所付近の地点と、北海道で最も標高が高い地点を比較した際、特に夏季において平均気温に大きな開きが生じる主な要因として正しいものを次から選びなさい。 (2016年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------|--------------------|------------------|------------------|
| 1. 緯度の違いによる日照時間の差 | 2. 暖流と寒流がぶつかる潮目の影響 | 3. 季節風（モンスーン）の遮断 | 4. 標高の違いによる気温の変化 |
|-------------------|--------------------|------------------|------------------|
- 問6 日本の国内における旅客輸送の状況について、東京都から北海道への移動を事例として説明した文として、適切なものはどれか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 青函トンネルの開通以降、鉄道による輸送コストが大幅に低下したため、航空機から鉄道への利用転換が完全に完了している。 | 2. 長距離の移動となるため、速達性に優れた航空機の利用が主流となっているが、新幹線の延伸などにより鉄道も重要な役割を担っている。 | 3. フェリーを利用した海上輸送が旅客輸送の中心であり、航空機や鉄道は補完的な手段として位置づけられている。 | 4. 環境負荷を低減する目的から、二酸化炭素排出量の多い航空機の利用が制限されており、鉄道が唯一の公共交通機関となっている。 |
|--|---|--|--|
- 問7 日本には、知床、白神山地、屋久島、小笠原諸島、奄美大島・徳之島・沖縄島北部及び西表島の5つの世界自然遺産があります。これらが位置する北海道、青森県、秋田県、鹿児島県などの道県のうち、青森県（青森市）、秋田県（秋田市）、鹿児島県（鹿児島市）のように県名と県庁所在地名が一致する自治体がある一方で、北海道は名称が異なります。世界自然遺産である知床を有し、道庁所在地が置かれている都市の名称を答えなさい。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 鹿児島市 | 2. 青森市 | 3. 札幌市 | 4. 秋田市 |
|---------|--------|--------|--------|
- 問8 日本の小麦や小豆の生産割合に関する統計において、全国の約6割（61.8%）を占めて第1位となっており、第2位の福岡県（7.6%）や第3位の佐賀県（5.7%）を大きく引き離している都道府県はどこですか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 新潟県 | 2. 鹿児島県 | 3. 北海道 | 4. 秋田県 |
|--------|---------|--------|--------|
- 問9 北海道のある都市の気候統計において、年平均気温が約8.9度、年降水量が約1106.5mmであり、特に12月や1月の降水量が比較的多いというデータが見られました。この都市が位置する場所として最も適切な条件はどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|-----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1. 北海道の東側に位置し、親潮（寒流）の影響を強く受ける地域 | 2. 北海道の中央部に位置し、海から離れた盆地状の地域 | 3. オホーツク海に面し、冬には流水が押し寄せる地域 | 4. 北海道の西側に位置し、日本海の影響を受ける地域 |
|---------------------------------|-----------------------------|----------------------------|----------------------------|
- 問10 日本の諸地域のうち、北海道地方について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。なお、北海道には世界自然遺産に登録された知床があります。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 道庁所在地は旭川市であり、上川盆地の中心都市である。 | 2. 道庁所在地は釧路市であり、水産業の拠点となっている。 | 3. 道庁所在地は札幌市であり、都道府県名と都市名が異なる例である。 | 4. 道庁所在地は函館市であり、本州との交通の要所となっている。 |
|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|
- 問11 札幌市の中心部に見られる、道路が垂直と水平に規則正しく交差するように設計され、住宅地や商業地が正方形に近い区画で整理されている街路の形態を何と呼びますか。 (2020年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|------------|-----------|-----------|
| 1. 格子状の街路 | 2. 同心円状の街路 | 3. 放射状の街路 | 4. 不規則な街路 |
|-----------|------------|-----------|-----------|
- 問12 北海道の知床半島を含む東部地域では、夏季に「濃霧」が発生し、視界が悪くなったり気温が上がりにくくなったりすることがあります。この霧が発生する仕組みについて、海面を流れる潮の流れ（海流）と季節風との関係を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 日本海から吹き込む湿った季節風が、暖流である対馬海流によって冷やされることで発生する。 | 2. 太平洋から吹き込む湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）によって冷やされることで発生する。 | 3. 太平洋から吹き込む乾いた季節風が、暖流である黒潮（日本海流）によって温められることで発生する。 | 4. オホーツク海から吹き込む冷たい風が、陸地の熱によって上昇気流となり、雲を作ることによって発生する。 |
|--|--|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 労働力不足を補うために、経営規模の拡大や搾乳ロボットの導入による機械化が進んでいる。	北海道の酪農では、従事者の高齢化や後継者不足を背景に飼育戸数自体は減少していますが、1戸あたりの飼育頭数を増やす「経営規模の拡大」や、搾乳ロボットなどの最新設備を導入する「機械化」を進めることで、少ない人数でも効率的に生産できる体制が整えられています。その結果、戸数が減っても全体の生乳生産量は維持・増加する傾向にあります。
問2	答え 3 道内産の豊富な石炭や鉄鉱石を背景に発展したが、現在は輸入原料への依存を強め、自動車部品用の特殊鋼など付加価値の高い製品に注力している。	北海道の重工業は、室蘭周辺の炭田や鉱山といった「原料供給地」に近いという立地条件を活かして発展しました。しかし、国内の炭鉱が閉山し、鉄鉱石も輸入に頼るようになったことで、単純な素材生産だけでなく、自動車産業向けの特種鋼など、高度な技術を要する分野へと生産内容をシフトさせて生き残りを図っています。製造品出荷額で見ても、鉄鋼業（約3954億円）は造船業（約310億円）を大きく上回る規模を維持しています。
問3	答え 1 アイヌ民族の言葉を由来とする地名が各所に残されており、明治時代には屯田兵が配置されて石狩平野の開拓が進められた。	北海道の多くの地名は、先住民族であるアイヌ民族の言葉に漢字を当てはめたものです。明治時代に入ると、警備と開拓を兼ねた屯田兵が各地に置かれ、石狩平野の扇状地などを中心に札幌の近代的な街づくりが進められました。江戸時代までは本格的な稲作は行われておらず、明治以降の技術改良によって北限が広がりました。
問4	答え 3 夏に親潮の影響で海霧が発生しやすく気温が上がらないため、牧草の栽培に適しているから	北海道東部の太平洋側は、夏に寒流である親潮（千島海流）の影響を受けて濃霧（海霧）が発生しやすく、日照時間が不足しがちで気温も低くなります。この気候条件は稲作や畑作には不向きですが、牧草の生育には適しているため、広い土地を生かした酪農が定着しました。
問5	答え 4 標高の違いによる気温の変化	一般に、標高が高くなるにつれて気温は下がるという性質があります。沿岸部に位置し標高が低い稚内市周辺と、北海道の屋根と呼ばれる大雪山系などの高標高地点を比較すると、この標高差が気温の差として明確に現れます。特に夏季の八月においては、全体の気温が高いため、標高による気温の低下が沿岸部との顕著な温度差となって示されます。
問6	答え 2 長距離の移動となるため、速達性に優れた航空機の利用が主流となっているが、新幹線の延伸などにより鉄道も重要な役割を担っている。	日本の長距離旅客輸送では、目的地までの所要時間を短縮できる航空機が大きなシェアを占めています。特に東京から北海道への移動では航空機の利用が圧倒的ですが、北海道新幹線の開業など鉄道網の整備も進められており、天候の影響を受けにくい安定した輸送手段として鉄道も並行して機能しています。他の選択肢にあるような「鉄道への完全な転換」や「航空機の利用制限」といった事実は現在の日本にはありません。
問7	答え 3 札幌市	都道府県名と都道府県庁所在地名が異なるケースは、全国で18の府県（北海道を含む）にあります。北海道の場合、道庁が置かれているのは札幌市です。また、北海道にある知床は、北半球における流水の南限であり、海と陸の生態系がつながっていることなどが評価され、世界自然遺産に登録されています。
問8	答え 3 北海道	涼しい気候と広大な土地を活かした畑作が非常に盛んな地域です。この都道府県は小麦や小豆だけでなく、じゃがいも（馬鈴薯）やてんさい（ビート）などでも全国1位の生産量を誇っており、日本の食料基地としての役割を担っています。選択肢にある新潟県や秋田県は米（稲作）、鹿児島県はサツマイモや畜産のシェアが高い県です。
問9	答え 4 北海道の西側に位置し、日本海の影響を受ける地域	北海道の日本海側に位置する都市（札幌など）は、対馬海流（暖流）の影響を受けるため、冬に北西の季節風によってもたらされる雪の影響で、12月や1月の降水量が多くなります。年平均気温が9度前後、降水量が1100mm程度という数値は、北海道の中でも比較的温暖で、冬の降雪が顕著な西岸地域の典型的な特徴を示しています。
問10	答え 3 道庁所在地は札幌市であり、都道府県名と都市名が異なる例である。	北海道の行政の中心である道庁は札幌市に置かれています。札幌市は、碁盤の目のように区画された市街地を持つ政令指定都市です。北海道内には、知床という世界自然遺産が存在するほか、青森・秋田両県にまたがる白神山地や鹿児島県の屋久島など、日本の自然遺産が所在する自治体は、その場所や名称が中学地理において重要な学習事項となります。
問11	答え 1 格子状の街路	明治時代に設置された開拓使による都市計画において、札幌市の中心部には京都の街並みや北米の都市を参考にした道路網が築かれました。このように直角に交わる道路で構成された街画は、土地の管理を容易にし、計画的な都市開発を進める上での大きな特徴となっています。
問12	答え 2 太平洋から吹き込む湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）によって冷やされることで発生する。	夏季の北海道東部では、南東の太平洋側から湿った季節風が吹き込みます。この風が、千島列島から南下してくる非常に水温の低い寒流である「親潮」の上を通る際、空気の温度が急激に下げられます。これによって空気中に含まれていた水蒸気が凝結して細かい水滴となり、濃い霧が発生します。この仕組みは、暖かい空気が冷たい海面に触れることで生じるため「移流霧」と呼ばれ、現地の農業や交通に影響を与えます。

問1 北海道の農業の特色について、農家一戸あたりの耕地面積と、生産体制の関連性を説明した文として正しいものはどれですか。 (2021年

岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 広大な耕地を維持するために、海外から多くの季節労働者を雇い入れる労働集約的な農業が主流である。 | 2. 耕地面積は広いが寒冷地で機械が故障しやすいため、現在でも伝統的な馬や牛を使った耕作が続いている。 | 3. 耕地面積が全国平均より狭いため、土地を最大限に活用する集約的な施設園芸が発達している。 | 4. 耕地面積が全国平均に比べて非常に広いため、大型の機械を活用した大規模な農業が行われている。 |
|--|---|--|--|

問2 北海道の農業統計において、1970年代後半から約40年間で、稲の作付面積と総収穫量が減少している一方で、単位面積あたりの収穫量が増加している現象を説明する用語として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------|-------------|-------------|------------|
| 1. 促成栽培の普及 | 2. 農業生産性の向上 | 3. 耕作放棄地の拡大 | 4. 自給足率の低下 |
|------------|-------------|-------------|------------|

問3 北海道の南東部に位置する十勝平野では、その広大な土地と冷涼な気候を活かした大規模な農業が行われています。この地域における農業の特色を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|-------------------------------------|--|
| 1. 大消費地に近い立地を活かして、ビニールハウスを用いた施設園芸農業が行われている。 | 2. 温暖な気候を利用して、冬でもレタスなどの野菜を栽培する促成栽培が行われている。 | 3. 輪作を中心とした大規模な畑作が行われ、あわせて酪農も盛んである。 | 4. 豊かな水資源を利用した大規模な稲作が行われ、米の単作地帯となっている。 |
|---|--|-------------------------------------|--|

問4 北海道において、宿泊施設の延べ宿泊者数や温泉地数が全国的に見て極めて多い水準にある理由と、その観光業の特色について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 冬季の積雪が厳しいため、観光の主力は夏場の避暑や農業体験に限定されており、季節による宿泊者数の変動が極めて大きい構造となっているため。 | 2. 火山帯に位置する地理的条件を活かした温泉地が各地にあり、広大な自然景観やパウダースノーなどの地域資源を求めて国内外から多くの観光客が訪れるため。 | 3. 歴史的な寺社仏閣が全国で最も多く、それらの伝統的建造物を宿泊施設として再利用する取り組みが全道で進んでいるため。 | 4. 首都圏からの距離が近いこと、日帰りの観光客を主なターゲットとした小規模な宿泊施設が特定の都市に集中し、効率的な運営が行われているため。 |
|--|---|---|--|

問5 北海道の北端に位置し、中心部に利尻山という火山をもつ人口約5000人の島々では、その豊かな自然景観が国立公園に指定されています。この地域の自然環境を活かした観光業とともに、古くから地域経済を支えてきた、高級ブランドとしても名高い特徴的な産業はどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------------|------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. かつての金山跡を中心とした歴史的遺産による観光開発 | 2. 冷涼な夏の気候を活かしたレタスなどの高原野菜の栽培 | 3. 寒冷な海域の特性を活かした昆布の養殖や漁業 | 4. 温暖な気候を利用したサトウキビの生産と加工 |
|------------------------------|------------------------------|--------------------------|--------------------------|

問6 北海道の太平洋側に夏に発生する濃霧は、周辺の気候や産業に大きな影響を与えます。この霧が発生する一因となっている、北から南下してくる寒流の名称として正しいものを選びなさい。 (2026年 島根県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|-------|-------|---------|
| 1. 対馬海流 | 2. 親潮 | 3. 黒潮 | 4. 日本海流 |
|---------|-------|-------|---------|

問7 日本の乳牛飼育において、飲用として出荷される牛乳の生産地が、千葉県、神奈川県、愛知県といった大都市の周辺に多く見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 飲用牛乳は加工品に比べて製品の鮮度を保つことが重視されるため、大消費地に近接した地域で生産されている。 | 2. 大都市の周辺は北海道に比べて土地代が安く、乳牛を放牧するための広大な土地を確保しやすい環境にある。 | 3. 飲用牛乳は加工用生乳に比べて重量が軽く、輸送コストがほとんどかからないため、あえて都市部で生産されている。 | 4. 法律によって、飲用牛乳は消費地と同じ地方自治体の中で生産・処理しなければならないと定められている。 |
|--|--|--|--|

問8 北海道の北東部に位置する海域で見られる流氷は、冬季の重要な観光資源となっています。この地域における流氷観光の具体的な内容として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 暖流に乗って流氷とともにやるかるカッオやマグロなどの大型魚を一本釣りで見学する。 | 2. 砕氷船と呼ばれる特殊な船に乗り、海面の水を割りながら進む様子を間近で見学する。 | 3. 流氷を溶かして作った真水を大規模なパイプラインで本州へ送る施設を見学する。 | 4. 流氷の上を歩いて北方領土まで渡り、現地の歴史を学習するツアーに参加する。 |
|---|--|--|---|

問9 日本の国内における旅客輸送の状況について、東京都から北海道への移動を事例として説明した文として、適切なものはどれか。 (2022年

栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 環境負荷を低減する目的から、二酸化炭素排出量の多い航空機の利用が制限されており、鉄道が唯一の公共交通機関となっている。 | 2. フェリーを利用した海上輸送が旅客輸送の中心であり、航空機や鉄道は補完的な手段として位置づけられている。 | 3. 青函トンネルの開通以降、鉄道による輸送コストが大幅に低下したため、航空機から鉄道への利用転換が完全に完了している。 | 4. 長距離の移動となるため、速達性に優れた航空機の利用が主流となっているが、新幹線の延伸などにより鉄道も重要な役割を担っている。 |
|--|--|--|---|

問10 北海道東部の釧路市周辺には広大な湿地が広がっています。この地域の自然環境と農業について述べた文として正しいものはどれですか。

(2021年 宮城県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 冬に北西から吹く湿った季節風が山脈に突き当たり、世界有数の豪雪地帯となるため、冬の間の農業は行われない。 | 2. 広大な湿地を干拓して大規模な水田地帯が作られており、石狩平野と並ぶ北海道有数の米の産地となっている。 | 3. 夏季に発生する霧の影響で気温が上がりにくいため、稲作よりも、冷涼な気候に適した酪農が盛んに行われている。 | 4. 年間を通じて温暖な対馬海流の影響を強く受けているため、冬でも雪がほとんど降らず、野菜の促成栽培が行われている。 |
|---|---|---|--|

問11 日本の都道府県別の統計において、北海道の耕地面積は全国の約25%という広大な面積を占めていますが、農業産出額の全国シェアは約13.5%となっています。この数値の比較から読み取れる、北海道の農業の特徴として適切なものはどれですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|-------------------------------------|---|--|
| 1. 広大な耕地面積を有しているが、面積の割合に比べると農業産出額の割合は低くなっている | 2. 耕地面積の割合よりも、農業産出額の全国シェアの方が高くなっている | 3. 耕地面積は非常に広いが、農業産出額の合計は全国の都道府県の中で最も低い水準にある | 4. 耕地面積と農業産出額のどちらも、全国の約半分以上を占める圧倒的な規模である |
|--|-------------------------------------|---|--|

問12 1997年に施行された「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律（アイヌ文化振興法）」が、それ以前の政策から大きく転換した点について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. アイヌの人々の居住地を北海道に限定し、伝統的な狩猟や漁業の権利のみを保障する方針に転換した。 | 2. アイヌの人々に対して金銭的な補償を行うことで、すべての歴史的課題を解決する方針に転換した。 | 3. アイヌの人々を独自の文化を持つ集団として認め、伝統や言語の振興を支援する方針に転換した。 | 4. アイヌの人々を日本人に同化させることを目的とし、日本語教育を義務づける方針に転換した。 |
|---|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 耕地面積が全国平均に比べて非常に広いため、大型の機械を活用した大規模な農業が行われている。	北海道の農業の最大の特徴は、その規模の大きさにあります。一戸あたりの耕地面積が全国平均の約5倍以上に達することもあり、この広大な土地を効率的に活用するために機械化が極めて高度に進んでいます。大規模な経営は、単位面積あたりの収益が低くても、全体としての生産量を増やすことで農家の経営を安定させることにつながっています。
問2	答え 2 農業生産性の向上	限られた土地からより多くの農産物を得られるようになることは、農業における「生産性の向上」を意味します。北海道では、大規模な農地を活かした機械化や、寒冷な気候に対応した育種技術の確立によって、少ない面積でも効率よく収穫を得る体制が整えられてきました。これは単なる面積の増減ではなく、技術的な進歩を指す重要な概念です。
問3	答え 3 輪作を中心とした大規模な畑作が行われ、あわせて酪農も盛んである。	北海道の十勝平野は、日本を代表する畑作地帯です。1戸あたりの耕地面積が非常に広く、大型機械を導入した大規模な農業が展開されています。ジャガイモ（馬鈴薯）、てんさい（ビート）、豆類、小麦などを組み合わせた畑作のほか、乳牛を飼育して生乳を生産する酪農も組み合わせられているのが大きな特徴です。
問4	答え 2 火山帯に位置する地理的条件を活かした温泉地が各地にあり、広大な自然景観やパウダースノーなどの地域資源を求めて国内外から多くの観光客が訪れるため。	北海道には活発な火山活動に由来する温泉地が数多く存在します。これに加えて、国立公園に指定されるような広大な自然環境や、冬の質の高い雪といった独自の資源が観光の目玉となっています。これらが大規模な宿泊施設の整備と結びつき、高い延べ宿泊者数を維持する要因となっています。
問5	答え 3 寒冷な海域の特性を活かした昆布の養殖や漁業	利尻島や礼文島は、美しい火山（利尻山）を中心とする景観から利尻礼文サロベツ国立公園に指定されています。この地域では、冷たい海流に育まれた良質な昆布が「利尻昆布」として全国的なブランドとなっており、漁業や養殖業が島にとって欠かせない基幹産業です。近年は、この伝統ある産業を維持するために、若手漁師の育成などの後継者支援も積極的に行われています。
問6	答え 2 親潮	北海道の東方沖を北から南へと流れる寒流は「親潮（千島海流）」です。夏に太平洋から吹く湿った季節風がこの冷たい親潮の上を通過することで、水蒸気が冷やされて霧が発生します。一方、黒潮（日本海流）は日本の南岸を北上する暖流であり、この霧の発生原因とは異なります。
問7	答え 1 飲用牛乳は加工品に比べて製品の鮮度を保つことが重視されるため、大消費地に近接した地域で生産されている。	生乳の生産と流通には、製品の性質に応じた明確な特徴がある。牛乳（飲用）は液体であり、品質を維持するために鮮度が極めて重要視される。そのため、輸送時間を短縮できる大消費地の近郊で生産・処理される傾向が強い。一方、バターやチーズなどの原料となる加工用生乳は、広大な土地を持つ北海道が生産の約9割を占めている。加工品は飲用牛乳に比べて保存性が高く、遠方からの輸送にも適しているため、土地条件の有利な北海道での大規模生産が可能となっている。
問8	答え 2 砕氷船と呼ばれる特殊な船に乗り、海面の氷を割りながら進む様子を間近で見学する。	網走や紋別などのオホーツク海沿岸の都市では、分厚い氷を砕きながら進むことができる「砕氷船」が運航されており、冬の北海道を代表する観光地となっています。流水は寒冷な親潮（千島海流）の影響を受けて南下してくるものであり、暖流とは無関係です。また、流氷の上を歩いて国境を越えるような観光は行われていません。
問9	答え 4 長距離の移動となるため、速達性に優れた航空機の利用が主流となっているが、新幹線の延伸などにより鉄道も重要な役割を担っている。	日本の長距離旅客輸送では、目的地までの所要時間を短縮できる航空機が大きなシェアを占めています。特に東京から北海道への移動では航空機の利用が圧倒的ですが、北海道新幹線の開業など鉄道網の整備も進められており、天候の影響を受けにくい安定した輸送手段として鉄道も並行して機能しています。他の選択肢にあるような「鉄道への完全な転換」や「航空機の利用制限」といった事実は現在の日本にはありません。
問10	答え 3 夏季に発生する霧の影響で気温が上がりにくいいため、稲作よりも、冷涼な気候に適した酪農が盛んに行われている。	釧路湿原に代表される道東の太平洋側は、夏の季節風と寒流の影響による海霧で気温が上がらないため、米作りには適していません。そのため、この冷涼な気候を活かして、乳牛を飼育する酪農が大規模に行われています。選択肢にある「豪雪地帯」は主に日本海側の特徴であり、「温暖な海流」や「促成栽培」は宮崎県や高知県などの南日本の特徴です。
問11	答え 1 広大な耕地面積を有しているが、面積の割合に比べると農業産出額の割合は低くなっている	北海道の耕地面積は約1,147千haであり、全国の約4,496千haに対して約4分の1（25%）を占めています。一方で、農業産出額は約1,185十億円であり、全国の約8,798十億円に対して占める割合（シェア）は約13.5%にとどまります。このことから、北海道の農業は一戸あたりの経営規模が非常に大きいものの、単位面積あたりの収益性が高い施設園芸農業（ビニールハウス栽培）などが盛んな都市近郊の地域などと比べると、面積シェアに対する産出額シェアは低くなる傾向にあります。
問12	答え 3 アイヌの人々を独自の文化を持つ集団として認め、伝統や言語の振興を支援する方針に転換した。	それまでの「北海道旧土人保護法」は、アイヌの人々を日本人の中に同化させることを目指した法律であり、アイヌ独自の文化や言語は否定される傾向にありました。アイヌ文化振興法の制定は、そうした同化政策から、多文化共生社会の実現に向けて、アイヌ独自の民族的誇りや文化的多様性を尊重する方針へと舵を切った重要な転換点となりました。

- 問1 北海道のオホーツク海沿岸で見られる流水と、その地域への影響について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 太平洋側から北上してくる大規模な氷山で、冬の間の船舶の往來をすべて止めている。 | 2. 暖流の影響で海水が蒸発して氷になったもので、夏の冷害を引き起こす原因となっている。 | 3. 日本海の雪が海に流れ出て固まったもので、主に水田の灌漑用水として利用されている。 | 4. シベリア沿岸で生まれた氷が南下してくるもので、冬の重要な観光資源として活用されている。 |
|--|--|---|--|
- 問2 ある都道府県の統計データによると、「年間訪問者数が約2,133万人」「世界遺産登録数が1件」「空港の数が14か所」「新幹線の駅の数」が2か所」となっています。この統計が示す都道府県名と、その交通網の特徴を説明した文の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 神奈川県：訪問客数は非常に多いが、羽田空港に近い県内に空港はなく、新幹線の駅は5か所設置されている | 2. 北海道：広大な面積を有するため道内の航空網が発達しており、青函トンネルを通じて新幹線も乗り入れている | 3. 奈良県：世界遺産の登録数は多いものの、内陸に位置し面積も狭いため、県内に空港は設置されていない | 4. 沖縄県：多くの離島を抱えるため空港の数は多いが、現在のところ新幹線は開通していない |
|--|---|--|--|
- 問3 北海道の東部に位置する根釧台地などの寒冷な地域において、乳牛を飼育して生乳や乳製品を生産する農業を何といいますか。牧草などの飼料生産と組み合わせられていることが特徴です。 (2018年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|---------|-------|
| 1. 酪農 | 2. 促成栽培 | 3. 果樹農業 | 4. 放牧 |
|-------|---------|---------|-------|
- 問4 北海道の北東側に面し、千島列島へと連なる海域において、冬季にシベリア沿岸から流水が押し寄せることが大きな特徴となっている海域の名前を選びなさい。 (2024年 石川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|--------|---------|--------|
| 1. オホーツク海 | 2. 日本海 | 3. 東シナ海 | 4. 太平洋 |
|-----------|--------|---------|--------|
- 問5 北海道の経済や文化の変遷について、かつての商業都市である小樽と、自然保護が進む釧路湿原の背景を説明した文として、正しいものを次のうちから選びなさい。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 小樽は、かつて石炭の積み出しやニシン漁の拠点として発展し、現在はその歴史的な倉庫群が観光資源として活用されている。 | 2. 釧路湿原は、農地開発や工業用地としての利用を目的として大規模な埋め立てが行われた結果、世界文化遺産に登録された。 | 3. 小樽は、江戸時代に東廻り航路の終着点として栄えたため、現在も大規模な製鉄所が稼働する重化学工業都市となっている。 | 4. 釧路湿原は、寒冷な気候を活かした稲作の適地として開発が進んだが、現在は冷害に強い品種改良の実験場となっている。 |
|--|---|---|--|
- 問6 冬の北海道において、シベリア沿岸で凍結した海水が潮の流れに乗ってオホーツク海沿岸へと押し寄せる現象を何といいますか。 (2024年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| 1. 濃霧 | 2. 季節風 | 3. 潮汐 | 4. 流水 |
|-------|--------|-------|-------|
- 問7 ある都市の統計データにおいて、年平均気温が7.9度、年降水量が1239.2mmであり、夏（7・8月）の気温が約20度と低く、冬の降水量が非常に少ないという特徴が見られました。この都市が位置する地域とその気候の背景について述べた文として正しいものを選びなさい。 (2023年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 中央高地に位置しており、標高が高いために年平均気温は低いが、日照時間が長いため夏の日中の気温は非常に高くなる。 | 2. 瀬戸内海沿岸に位置しており、周囲を山地に囲まれているため、年間を通じて降水量が少なく、夏は非常に高温になる。 | 3. 北陸地方の日本海側に位置しており、冬は対馬海流の影響を受けた湿った風が山地にぶつかるため、世界的な豪雪地帯となる。 | 4. 北海道の太平洋側に位置しており、夏は海からの湿った冷たい風などの影響で気温が上がりにくく、冷涼な気候となる。 |
|--|---|--|---|
- 問8 北海道の石狩平野などは、かつて農耕に不向きな土地でしたが、現在では日本有数の稲作地帯となっています。このような発展を可能にした土地改良の背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 急傾斜地を階段状に削り、地滑りを防ぎながら標高の高い場所でも耕作を可能にした。 | 2. 植物の遺体が堆積した排水の悪い湿地を改良するため、排水路の整備や客土が行われた。 | 3. 火山灰が厚く堆積して水持ちが悪い台地を改良するため、大規模な水路が建設された。 | 4. 海岸沿いの浅瀬に堤防を築いて海水を抜き、塩害に強い新たな耕地を造成した。 |
|--|---|--|---|
- 問9 北海道東部に位置する根釧台地では、広大な土地を利用した大規模な酪農が盛んに行われています。この地域で畑作よりも酪農が適している理由として、気候や土地の条件を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 一年を通じて降水量が非常に少なく乾燥した気候であり、水不足に強い牛の飼育が適しているから。 | 2. 土地が火山灰で覆われており非常に肥沃であるため、肥料を使わずに効率よく飼料を生産できるから。 | 3. 夏は湿った風の影響で濃霧が発生しやすく、低温であるため、作物の栽培よりも牧草の生育に適しているから。 | 4. 冬の積雪量が非常に多く、春になっても雪が解けないため、耕作期間が極端に短いから。 |
|--|---|---|---|
- 問10 世界自然遺産である知床半島において、エコツーリズムを推進するために設置されている「高架木道」について、地面から高く浮かせて設置されている理由として最も適切な説明はどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 歩行者が地面の植物を踏みつけるのを防ぎ、かつヒグマなどの野生動物との距離を保つため | 2. 地熱による木材の腐敗を防止し、メンテナンスにかかる費用を最小限に抑えるため | 3. 冬の間に降り積もる深い雪に道が埋もれないようにし、一年を通じて観光を可能にするため | 4. 森林火災が発生した際に、木道が防火帯として機能し、延焼を食い止めるやすくなるため |
|--|--|--|---|
- 問11 北海道の南東部に位置する十勝平野では、その広大な土地と冷涼な気候を活かした大規模な農業が行われています。この地域における農業の特色を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|-------------------------------------|--|
| 1. 大消費地に近い立地を活かして、ビニールハウスを用いた施設園芸農業が行われている。 | 2. 温暖な気候を利用して、冬でもレタスなどの野菜を栽培する促成栽培が行われている。 | 3. 輪作を中心とした大規模な畑作が行われ、あわせて酪農も盛んである。 | 4. 豊かな水資源を利用した大規模な稲作が行われ、米の単作地帯となっている。 |
|---|--|-------------------------------------|--|
- 問12 北海道の知床半島は世界自然遺産に登録されており、地域の自然環境を保護しながら、その価値を観光客に伝える「エコツーリズム」が推進されています。この取り組みの具体的な事例として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 旭川市の動物園で見られるような、動物本来の動きを間近で観察できる行動展示の導入 | 2. 野生動物との接触や植生へのダメージを抑えつつ散策を楽しめる、高架木道の整備 | 3. 札幌市で冬の観光振興を目的に行われる、大規模な雪像を展示するさっぽろ雪まつり | 4. ニセコなどのスキー場において、急増する外国人観光客に対応するための多言語表記の充実 |
|--|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 シベリア沿岸で生まれた氷が南下してくるもので、冬の重要な観光資源として活用されている。	流水はシベリア沿岸で発生し、海流に乗ってオホーツク海を南下して北海道の北東岸に到達します。かつては漁船の出港を妨げるなどの負の側面が強調されましたが、現在では砕氷船（ガリンコ号やオーロラ号）による観光や、流水とともにやってくるクリオネなどの観察といった観光資源としての側面が重視されています。他の選択肢にある冷害の原因は主に夏の「やませ」などであり、流水の性質とは異なります。
問2	答え 2 北海道：広大な面積を有するため道内の航空網が発達しており、青函トンネルを通じて新幹線も乗り入れている	統計にある「空港数14」は全国で最多の数値であり、広大な面積を持つ北海道特有の指標です。沖縄県も離島のために空港数は多いですが、新幹線は走っていません。奈良県には空港がなく、神奈川県は新幹線の駅数が多いものの県内に空港はありません。北海道は広大な土地を結び航空網に加え、北海道新幹線の駅が函館近郊などに設置されていることが大きな特徴です。
問3	答え 1 酪農	乳牛を飼育して牛乳やバター、チーズなどの原料となる生乳を生産する農業を酪農と呼びます。北海道の根釧台地は、夏に気温が上がりにくく霧が発生しやすい寒冷な気候であるため、稲作などには向きませんが、牧草の生育に適していることから、自給的な飼料生産を伴う大規模な酪農が発達しました。
問4	答え 1 オホーツク海	北海道の北側に位置するこの海域は、冬になるとアムール川から流れ込む淡水の影響で塩分濃度が低くなった海水が凍り、それが季節風に乗って南下してくる「流水」が見られることで有名です。日本の周辺海域でこのような大規模な流水が観測されるのは、この海域特有の現象です。
問5	答え 1 小樽は、かつて石炭の積み出しやニシン漁の拠点として発展し、現在はその歴史的な倉庫群が観光資源として活用されている。	小樽は明治から大正にかけて、北海道開拓の玄関口やニシン漁、石炭の積み出し港として急速に発展し、「北のウォール街」と呼ばれるほどの商業都市となりました。現在は当時の石造り倉庫や運河が保存され、重要な観光資産となっています。釧路湿原は開発から免れた貴重な自然として「世界文化遺産」ではなく「国立公園」や「ラムサール条約」による保護の対象となっています。また、釧路付近の気候は稲作には適さず、主に酪農が行われています。
問6	答え 4 流水	北海道の北東部に位置するオホーツク海沿岸では、冬になるとシベリアの沿岸で凍った海水が南下し、網走や紋別などの海岸に漂着します。これを流水と呼び、北海道の冬を象徴する自然環境の特色の一つとなっています。選択肢にある「濃霧」は、夏に冷涼な湿った風（やませ）の影響を受ける太平洋側の沿岸部で多く見られる特色であり、混同しないよう注意が必要です。
問7	答え 4 北海道の太平洋側に位置しており、夏は海からの湿った冷たい風などの影響で気温が上がりやすく、冷涼な気候となる。	問題文にある「年平均気温が約8度」「夏が20度前後と冷涼」「冬の降水量が少ない」というデータは、北海道の太平洋側に位置する苫小牧市などの典型的な特徴です。太平洋側では、夏に千島海流（親潮）の上を吹き渡る冷たい湿った空気の影響で、気温がそれほど上がらず冷涼な夏となります。一方で冬は、日本海側で雪を降らせた後の乾燥した空気が流れ込むため、降水量が抑えられます。これに対し、日本海側の金沢などでは冬の降水量が非常に多くなるため、対照的なグラフとなります。
問8	答え 2 植物の遺体が堆積した排水の悪い湿地を改良するため、排水路の整備や客土が行われた。	石狩平野などに広がっていた泥炭地は、非常に排水が悪く、そのままでは稲作に適しませんでした。そこで、大規模な排水路を建設して湿地の水を除き、さらに他の場所から良質な土を運び入れる「客土（かくど）」を行うことで、肥沃な農地に生まれ変わらせました。選択肢にある「火山灰の台地」はシラス台地、「海水を抜く」は干拓に関する説明です。
問9	答え 3 夏は湿った風の影響で濃霧が発生しやすく、低温であるため、作物の栽培よりも牧草の生育に適しているから。	根釧台地は千島海流（親潮）の影響を受けた湿った空気が流れ込み、夏に濃霧が発生しやすく、気温が上がらない「冷涼」な気候が特徴です。このような気候条件や火山灰地という性質は、一般的な畑作には向きませんが、牛の餌となる牧草の栽培には適しているため、大規模な酪農が発展しました。
問10	答え 1 歩行者が地面の植物を踏みつけるのを防ぎ、かつヒグマなどの野生動物との距離を保つため	知床のような貴重な生態系が残る場所では、観光利用が自然破壊につながる「観光公害」を防ぐ必要があります。木道を地面から浮かせることで、貴重な植物の踏みつけを物理的に回避できるほか、電気柵を併設することでヒグマが木道内に侵入するのを防ぎ、野生動物との適切な距離を保ちながら安全に自然観察を行うことが可能になっています。これは、環境保護と観光資源の活用という、制度の目的を具現化した仕組みです。
問11	答え 3 輪作を中心とした大規模な畑作が行われ、あわせて酪農も盛んである。	北海道の十勝平野は、日本を代表する畑作地帯です。1戸あたりの耕地面積が非常に広く、大型機械を導入した大規模な農業が展開されています。ジャガイモ（馬鈴薯）、てんさい（ビート）、豆類、小麦などを組み合わせた畑作のほか、乳牛を飼育して生乳を生産する酪農も組み合わせられているのが大きな特徴です。
問12	答え 2 野生動物との接触や植生へのダメージを抑えつつ散策を楽しめる、高架木道の整備	エコツーリズムは、地域の自然環境や文化の保全と、それらを観光客が体験する活動を両立させる仕組みを指します。知床では、観光客が地面を直接歩くことで高山植物などの植生を傷つけるのを防ぎ、さらにヒグマなどの野生動物との遭遇による事故を避けるために、地面から浮かせて設置された「高架木道」が活用されています。旭川の行動展示は施設の工夫、雪まつりはイベントによる振興、外国語表記はインバウンド対応であり、いずれもエコツーリズムの定義とは異なります。

- 問1 北海道のオホーツク海沿岸で見られる流氷について、その発生と移動の背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2026年 愛知県公立入試 類似)
1. アラスカ沿岸で発達した流氷が、偏西風の影響を受けて東から西へと移動し、北海道の知床半島周辺に漂着する。
 2. 北極海から流れ出した巨大な氷の塊が、親潮（千島海流）に乗って南下し、北海道の太平洋側に接岸する。
 3. シベリアからの強い寒気によって凍った海水が、風や海流の影響を受けて南下し、北海道の沿岸に到達する。
 4. 日本海側の対馬海流が強い寒気で冷やされることで氷が発生し、北西の季節風によって北海道の北部に押し寄せられる。
- 問2 ニセコ町や倶知安町では、特定の時期に急増する外国人観光客の利便性を高めるため、駅から目的地までの移動手段である「二次交通」の整備などに官民が連携して取り組んでいます。持続可能な観光地づくりの先進事例として注目されているこの取り組みを何と呼びますか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
1. コンパクトシティ
 2. エコツーリズム
 3. ニセコモデル
 4. 地産地消運動
- 問3 北海道の泥炭地における土地改良の取り組みについて、不毛な湿地を農地に変えるために「排水施設の整備」と共に行われた、他の場所から新しい土を運び入れる作業の名称を選びなさい。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
1. 輪作
 2. 干拓
 3. 減反
 4. 客土
- 問4 北海道東部の根釧台地における気候の特徴と、それに関連した農業の様子について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 夏の気温が非常に高く日照時間が長いので、広大な土地を利用して本州と同じような二毛作による野菜の生産が行われている。
 2. 日本海側に位置するため冬は大量の降雪があり、その豊富な雪解け水を利用した大規模な稲作地帯が形成されている。
 3. 太平洋側に位置するため冬の降水量は比較的小さいが、冷え込みは非常に厳しく、広大な牧草地帯を活用した酪農が盛んである。
 4. 年間を通じて降水量が極端に少なく、乾燥した土地に適したブドウやオリーブなどの果樹栽培が地域経済の中心となっている。
- 問5 北海道には、その土地の先住民の伝統的な暮らし方や文化を学ぶための国立施設が整備されています。この民族の歴史や現状に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 愛知県公立入試 類似)
1. 江戸時代にユーラシア大陸から移住し、大規模な農地開発を主導した人々の集団である。
 2. 独自の言語や自然を敬う文化を持つ先住民であり、現代においてもその伝統の継承が図られている。
 3. 明治時代に本州から組織的に移住し、屯田兵として土地の開墾に従事した人々の総称である。
 4. かつて南西諸島を中心に独自の王国を築き、東南アジアとの中継貿易で栄えた人々である。
- 問6 北海道東部の太平洋沿岸地域において、夏の気候に大きな影響を与える「海霧」の要因となる、海流の名称と季節風の向きの組み合わせとして正しいものはどれか。 (2024年 石川県公立入試 類似)
1. 対馬海流と南東の季節風
 2. 黒潮（日本海流）と北西の季節風
 3. 親潮（千島海流）と南東の季節風
 4. 親潮（千島海流）と北東の季節風
- 問7 北海道の農業は、広大な十勝平野などを中心に日本の食料自給に大きく貢献していますが、人口に占める農業従事者の割合は全国平均よりも低いという特徴があります。このような数値が表れる背景にある、北海道の農業の仕組みとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
1. 農地の多くが牧場として利用されており、農作物を作る従事者が不足しているため
 2. 都市近郊での施設園芸が中心であり、限られた土地で少人数の家族労働が行われているため
 3. 1戸あたりの経営面積が広く、大型機械を活用した大規模な農業が行われているため
 4. 冷涼な気候を活かした稲作が中心であり、冬の間の就業人口が極端に少なくなるため
- 問8 北海道の釧路市周辺では、夏の時期に「海霧」と呼ばれる濃霧が発生し、日照時間が短くなるという気候上の特徴が見られます。このような現象が起こる背景として、地形や海流の影響を説明したものとして最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
1. 熱帯低気圧から変わった温帯低気圧が、太平洋沿岸の暖流によって勢力を強めるため。
 2. オホーツク海高気圧から吹き出す冷涼な風が、大雪山系を越える際に上昇気流を作るため。
 3. 北西からの乾燥した季節風が、暖流である日本海流（黒潮）の影響で湿気を帯びるため。
 4. 南東からの湿った季節風が、寒流である千島海流（親潮）の上を通る際に冷やされるため。
- 問9 日本の地方別統計において、北海道地方は耕地面積が極めて広い一方で、農家数は他地方と比較してそれほど多くありません。この「農家数に対する耕地面積の割合が非常に高い」という状況が、北海道の農業経営にどのような影響を与えているか、正しく説明しているものはどれですか。 (2019年 高知県公立入試 類似)
1. 労働力が余っているため、機械を使わずに手作業による丁寧な栽培が行われている
 2. 一戸あたりの作業範囲が広いので、生産効率を高める機械化が不可欠となっている
 3. 農家一戸あたりの土地が狭すぎるため、複数の農家が共同で土地を管理している
 4. 土地の生産性が低いため、農業を営む世帯が減少し、耕作放棄地が最も多くなっている
- 問10 北海道東部に突き出した半島に位置し、海と陸のつながりによる独特の生態系が評価され、2005年にユネスコの世界遺産（自然遺産）に登録された場所はどこですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
1. 知床
 2. 小笠原諸島
 3. 白神山地
 4. 屋久島
- 問11 北海道の大規模な畑作地帯では、1つの土地において1年目に豆、2年目に小麦、3年目にてんさい、4年目にじゃがいもというように、数年周期で育てる作物を変える工夫が行われています。このような栽培方法を何といいますか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
1. 輪作
 2. 促成栽培
 3. 二期作
 4. 二毛作
- 問12 日本の農業の状況を分析した資料において、農業就業者一人あたりの耕地面積が他の地方に比べて極めて大きく、かつ地方別の米の生産量割合において国内最大のシェアを占めている地方はどこですか。 (2016年 愛媛県公立入試 類似)
1. 東北地方
 2. 北海道
 3. 近畿地方
 4. 九州地方
- 問13 北海道には古くから独自の文化を築いてきた先住民が居住しており、現在の札幌をはじめとする道内の多くの地名は彼らの言葉に由来しています。この民族を何と呼びますか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
1. アイヌ民族
 2. ウィルタ民族
 3. 琉球民族
 4. 大和民族

答え合わせ・解説

問1	答え 3 シベリアからの強い寒気によって凍った海水が、風や海流の影響を受けて南下し、北海道の沿岸に到達する。	流氷の形成には、シベリア大陸から吹き付ける非常に冷たい空気が不可欠です。この寒気によってオホーツク海の塩分濃度が低い表面層が凍り、それが北西の季節風や海流によって南へ運ばれることで、北海道の北東沿岸にたどり着くという仕組みになっています。
問2	答え 3 ニセコモデル	急激な観光需要の増加に対し、行政と民間事業者が協力して、バス路線の拡充や多言語対応、決済システムの導入などを進める仕組みを指します。インフラ整備やサービス向上を一体となって進めることで、観光客の満足度を高め、地域経済を活性化させる手法として全国から注目されています。
問3	答え 4 客土	泥炭地は植物の遺骸が腐敗しきらずに堆積した土地で、水分が非常に多く農業に適しません。この土地に別の場所から良好な土を運び込んで層を作ることを「客土（かくど）」と呼びます。この作業によって土地の質を改善し、排水施設で水分を除くことで、ジャガイモやテンサイなどの畑作や、牧草地としての利用が可能になりました。
問4	答え 3 太平洋側に位置するため冬の降雪量は比較的小さいが、冷え込みは非常に厳しく、広大な牧草地帯を活用した酪農が盛んである。	根釧台地は北海道の太平洋側に位置しているため、日本海側と比べて冬の雪はそれほど多くありませんが、放射冷却などの影響で気温は非常に低くなります。夏には海霧が発生しやすく冷涼であるため、稲作には不向きな土地柄ですが、その広大な面積を活かして乳用牛を飼育する酪農が主要な産業となっています。トラップとして挙げられる「稲作」や「夏の高温」は、この地域の気候条件とは一致しません。
問5	答え 2 独自の言語や自然を敬う文化を持つ先住民族であり、現代においてもその伝統の継承が図られている。	アイヌの人々は北海道の先住民族であり、明治時代以降の政府の政策などによって独自の文化が失われかけた歴史を持ちます。しかし、2019年にはアイヌ施策推進法が施行され、法律によって初めて先住民族と明記されました。現在は、独自の文化や誇りを尊重し、多文化共生社会を実現するための教育や施設整備が進められています。
問6	答え 3 親潮（千島海流）と南東の季節風	北海道東部の太平洋沿岸では、夏に南東から湿った空気が流れ込みますが、この空気が千島列島付近から南下してくる寒流の「親潮（千島海流）」の影響を受けることで冷やされ、濃い霧が発生します。この現象は、この地域の夏の気温が上がりにくい一因ともなっており、農作物の生育に影響を与える「冷害」の原因になることもあります。
問7	答え 3 1戸あたりの経営面積が広く、大型機械を活用した大規模な農業が行われているため	北海道の農業は、他の都府県と比較して1戸あたりの耕地面積が非常に広く、大型機械を導入した大規模な経営が主流です。これにより、少ない労働力で広範囲の農地を管理できるため、農業生産額は大きいものの、全人口に対する農業従事者の割合は全国平均を下回る水準となっています。このように、生産性の高さと従事者の割合は必ずしも比例しません。
問8	答え 4 南東からの湿った季節風が、寒流である千島海流（親潮）の上を通る際に冷やされるため。	日本の夏には、太平洋高気圧から南東の季節風が吹き込みます。この季節風は海からの湿気を多く含んでいますが、北海道東部の沖合を流れる寒流（千島海流／親潮）によって下層から急激に冷やされます。冷やされた空気中の水蒸気が細かい水滴となることで濃霧が発生し、沿岸部に流れ込むため、釧路などの地域では日照時間が減少します。
問9	答え 2 一戸あたりの作業範囲が広いため、生産効率を高める機械化が不可欠となっている	農家数に対して耕地面積が広大であるということは、農家一戸が管理しなければならない面積が非常に大きいことを意味します。人の手による作業だけではこの広大な土地をカバーできないため、大型機械を活用した大規模経営を行うことで、一戸あたりの生産性を高める工夫がなされています。これが、北海道が日本最大の食料供給基地と呼ばれる理由の一つです。
問10	答え 1 知床	北海道東部にある知床半島は、冬に流れ着く流氷がもたらすプランクトンを起点として、魚類、鳥類、そしてヒグマなどの大型哺乳類までが密接に関わる豊かな生態系を持っています。この貴重な自然環境が認められ、日本では3番目の世界自然遺産として登録されました。
問11	答え 1 輪作	1年ごとに異なる種類の作物を順序立てて栽培する仕組みを「輪作」と呼びます。これは、北海道のように広い農地を活用する地域で見られる特徴的な農法です。同じ土地で同じ作物を繰り返し作る「連作」を避けることで、土壌の質を保ち、収穫量が減るのを防ぐ効果があります。
問12	答え 2 北海道	広大な石狩平野などを中心に、かつての開拓によって整備された一区画あたりの面積が広い農地が広がっています。このため、大型機械を活用した効率的な大規模農業が展開されており、一人あたりの経営規模が非常に大きいのが特徴です。また、かつては寒冷地での栽培は困難とされていましたが、品種改良の進展により、現在では地方別で見た米の生産量でも全国トップクラスのシェアを誇っています。
問13	答え 1 アイヌ民族	アイヌ民族は北海道の先住民族であり、自然界のあらゆるものに魂が宿ると考える独自の精神文化や言語を持っています。北海道にある多くの地名は、彼らが地形や動植物の特徴を表現した言葉が語源となっており、例えば札幌（サッポロ）は「乾いた大きな川」を意味するアイヌ語の『サツ・ポロ・ベツ』に由来しています。

- 問1 北海道のほぼ中央に位置する内陸部の気候について述べた文として、最も適切なものはどれですか。この地域では、海岸部と比較して夏と冬の気温差が大きく、冬の気温が氷点下になるという特徴が見られます。(2025年 沖縄県公立入試 類似)
1. 海洋性気候 2. 瀬戸内の気候 3. 内陸性気候 4. 南西諸島の気候
- 問2 北海道の北東側に位置するオホーツク海から、冬に沿岸へ押し寄せ、解ける際に多くの栄養分を海に供給する氷の塊を何というか。(2025年 青森県公立入試 類似)
1. 寒流 2. 季節風 3. 流氷 4. 親潮
- 問3 北海道の県庁所在地である札幌市の気候の特徴を説明した文として、統計データに基づき正しく述べたものを次の中から選びなさい。(2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 1年を通じて気温の変化が小さく、1月の平均気温も15度を上回り、夏に極めて多い降水量が見られる。 2. 夏は非常に高温になる一方で、冬の降水量が極端に少なく、年間降水量が1000mmを下回る乾燥した気候である。 3. 1月の平均気温は5度前後であり、夏には梅雨の影響で雨が非常に多いが、冬は乾燥して晴天が続く。 4. 1月の平均気温が氷点下の約マイナス5度まで下がり、年間の降水量は各月100mmから150mm程度で推移する。
- 問4 十勝平野における大規模な畑作では、同じ耕地において数年周期で栽培する作物を変える工夫がなされています。このような栽培方法を取り入れている理由として、最も適切な説明はどれですか。(2024年 滋賀県公立入試 類似)
1. 冬の積雪期間を有効に活用して、同じ土地から一年のうちに二度の収穫を行い、農家の所得を増やすため 2. 政府による米の生産調整に対応するため、もともと水田だった土地を畑に作り変えて別の作物を栽培するため 3. 特定の作物を連続して栽培することで起こる連作障害を防ぎ、土地が持つ生産力である地力を維持するため 4. 冷害による被害を最小限に抑えるため、寒さに強い作物だけを特定の広い区画に集めて単一栽培するため
- 問5 北海道の知床(斜里町など)では、1980年の知床横断道路の開通などをきっかけに、1990年代には観光客数が180万人に達するほど急増しました。これにともなう環境の変化と、その対策として行われた取り組みの説明として最も適切なものはどれですか。(2022年 栃木県公立入試 類似)
1. 世界自然遺産への登録を維持するために、2007年以降は一切の観光利用を禁止し、研究者以外の立ち入りを厳格に制限する方針に転換した。 2. 観光客の増加によって自然環境が損なわれることが懸念されたため、1999年から自動車の乗り入れ規制を開始し、保全と観光の両立を目指すエコツーリズムのガイドラインを策定した。 3. 1990年代の急激な観光客増加に対応するため、自然保護よりも利便性を優先し、知床半島の奥地まで自由に自動車で移動できる制度を強化した。 4. 観光客が減少したことで地域経済が衰退したため、2005年に世界自然遺産に登録されたことを機に、新たな大型道路を建設して観光客の呼び戻しを図った。
- 問6 北海道の日本海側から太平洋側にかけての地形断面図を分析したとき、中央部の険しい山地を挟んで西側と東側に位置する平野の組み合わせとして正しいものはどれですか。(2021年 岩手県公立入試 類似)
1. 西側に根釧台地、東側に十勝平野 2. 西側に石狩平野、東側に根釧台地 3. 西側に十勝平野、東側に石狩平野 4. 西側に石狩平野、東側に十勝平野
- 問7 旭川市周辺において、昭和から平成にかけて田畑や空き地が住宅地や発電所へと変化した現象について、その背景にある社会的な要因として最も適切な説明はどれですか。(2016年 京都府公立入試 類似)
1. 交通網の衰退により、郊外からの人口流出が激しくなり、土地が放置されたため。 2. 都市化の進展に伴い、居住空間の確保やエネルギー供給の必要性が高まったため。 3. 食料自給率を向上させるために、都市部の建物を壊して農地を拡大する政策がとられたため。 4. 自然環境を保護するために、市街地の面積を昭和初期の規模にまで縮小させたため。
- 問8 北海道東部の根釧台地に位置し、夏に濃霧が発生しやすい涼やかな気候を生かして大規模な酪農が行われており、農業産出額の大部分を乳用牛が占めている自治体はどれか。(2025年 青森県公立入試 類似)
1. 新篠津村 2. 北見市 3. 別海町 4. 夕張市
- 問9 札幌において、冬(12月～2月)の降水量が東京などの太平洋側の都市に比べて多くなる理由を、地理的な背景から説明したものとして正しいものはどれですか。(2021年 茨城県公立入試 類似)
1. シベリア高気圧から吹き出す乾燥した風が、太平洋上で水分を蓄えて戻ってくるため。 2. 冬に湿った南東の季節風が吹き込み、雪を降らせるため。 3. 暖流である対馬海流から蒸発した水蒸気が、北東の季節風によって運ばれるため。 4. 冬に湿った北西の季節風が吹き込み、雪を降らせるため。
- 問10 日本の都道府県の配置において、最北端に位置する北海道は、新潟県や鹿児島県といった他の地域と比較して特有の自然環境を有しています。北海道の大部分を占める気候帯の背景や仕組みについて述べた文として、正しいものを選びなさい。(2024年 徳島県公立入試 類似)
1. 周囲を海に囲まれているため、本州の山梨県などの内陸部よりも夏は暑い。 2. 日本海を流れる暖流の影響を強く受けるため、冬でも比較的温暖である。 3. 季節風の影響で一年中雨や雪が多く、夏と冬の気温差がほとんどない。 4. 高緯度に位置するため冬の寒さが厳しく、年間の気温差が非常に大きい。
- 問11 北海道において、近年、冬季の外国人宿泊者数が夏季の宿泊者数を上回るほどに急増している背景として、最も適切な理由はどれですか。(2018年 山形県公立入試 類似)
1. 冬季の農閑期を利用して、外国人観光客を対象とした大規模な農作業体験ツアーが全道各地で定着したため。 2. 質の高い雪(パウダースノー)を求めて来日するスキー客の増加や、雪まつりなどの冬特有の観光資源が海外で高く評価されているため。 3. 夏季の北海道は梅雨の影響で天候が不安定になることが多く、天候の安定した冬季に観光客が集中するようになったため。 4. 冬季は夏季に比べて航空運賃や宿泊代金が大幅に安くなるよう、国と地方自治体が連携して大規模な割引政策を継続しているため。
- 問12 北海道の知床半島のすぐ東側に位置し、択捉島、色丹島、歯舞群島とともに、日本固有の領土でありながら現在はロシアによって法的根拠なく占拠されている島を何というか。(2019年 岡山県公立入試 類似)
1. 色丹島 2. 択捉島 3. 国後島 4. 歯舞群島

答え合わせ・解説

問1	答え 3 内陸性気候	北海道の中央部は海から離れているため、比熱の小さい陸地の影響を強く受けます。水に比べて陸地は温まりやすく冷めやすいため、夏は気温が上がりやすく、冬は極めて寒冷になる内陸特有の気候が形成されます。冬には氷点下まで気温が下がり、積雪も見られるのが大きな特徴です。
問2	答え 3 流氷	冬にシベリア方面からオホーツク海を南下してくる氷の塊であり、北海道の沿岸に接岸する現象である。アムール川などからの豊富な栄養分を含んでおり、豊かな生態系を支える要因となっている。親潮（千島海流）は寒流の一種であり、海流そのものを指すため、氷の塊である流氷とは異なる。
問3	答え 4 1月の平均気温が氷点下の約マイナス5度まで下がり、年間の降水量は各月100mmから150mm程度で推移する。	札幌市の気候は、北国特有の寒冷な性質を持っています。気温の面では、1月の平均気温がマイナス5度付近まで低下する厳しい寒さが特徴です。降水量の面では、本州以南で見られるような梅雨や台風による極端な降水量の増加が少なく、年間を通じて各月100mmから150mm程度と、比較的安定した推移を見せるのが冷帯（亜寒帯）に属する地域の傾向です。
問4	答え 3 特定の作物を連続して栽培することで起こる連作障害を防ぎ、土地が持つ生産力である地力を維持するため	同じ耕地で同じ種類の作物を繰り返し栽培すると、土壌の養分バランスが崩れたり、特定の病害虫が発生しやすくなったりする「連作障害」が発生します。十勝平野では、てん菜、小麦、ジャガイモ、豆類を組み合わせて順番に栽培することで、この障害を回避し、地力を維持しながら効率的な農業経営を行っています。一年に二回収穫するのは二毛作や二期作、水田から畑への変更は転作の説明であり、十勝平野の輪作の目的とは異なります。
問5	答え 2 観光客の増加によって自然環境が損なわれることが懸念されたため、1999年から自動車の乗り入れ規制を開始し、保全と観光の両立を目指すエコツーリズムのガイドラインを策定した。	知床では、道路の開通によってアクセスが向上したことで観光客が急増し、貴重な生態系や景観が損なわれることが課題となりました。これを受け、2005年の世界自然遺産登録の前後から、特定の時期のマイカー規制やエコツーリズムの推進など、自然を「守る」と「利用する」ことを両立させる持続可能な取り組みが続けられています。
問6	答え 4 西側に石狩平野、東側に十勝平野	北海道の中央部にある大雪山系などの山地を境にして、西側（日本海側）には石狩川の下流に広がる石狩平野があり、東側（太平洋側）には大規模な畑作が行われている十勝平野が位置しています。
問7	答え 2 都市化の進展に伴い、居住空間の確保やエネルギー供給の必要性が高まったため。	旭川市における土地利用の変化は、日本の多くの地方都市で見られた都市化のプロセスを反映しています。昭和後期から平成にかけて、都市の規模が拡大する中で、かつて農業に使われていた土地や未利用地が、人々の生活の場（住宅地）や社会インフラ（発電所など）へと転換されました。これにより、地域の経済活動や住民の利便性が向上した一方で、周辺の自然景観や農地が減少するという側面も持っています。
問8	答え 3 別海町	根釧台地は寒流である親潮の影響で夏でも気温が上がりにくく、稲作や畑作が難しいため、広大な土地と牧草を利用した酪農が発達しました。選択肢の北見市は玉ねぎなどの畑作、新篠津村は石狩平野での稲作が中心であり、夕張市はメロン栽培などで知られています。
問9	答え 4 冬に湿った北西の季節風が吹き込み、雪を降らせるため。	日本の冬はシベリア高気圧から北西の季節風が吹きます。この風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、北海道の日本海側に位置する札幌などに雪をもたらします。そのため、冬の時期に晴天が多く降水量が少ない太平洋側の都市と比較して、札幌では冬の降水量（降雪量）が多くなるという因果関係が生じます。
問10	答え 4 高緯度に位置するため冬の寒さが厳しく、年間の気温差が非常に大きい。	北海道が属する亜寒帯（冷帯）は、赤道から離れた高緯度地域に特有の気候です。太陽からのエネルギーが少ないため冬は極めて寒冷になりますが、夏は日照時間が長くなるため一定の気温まで上昇します。その結果、夏と冬の気温の差が他の温帯地域よりも顕著に現れるというメカニズムを持っています。
問11	答え 2 質の高い雪（パウダースノー）を求めて来日するスキー客の増加や、雪まつりなどの冬特有の観光資源が海外で高く評価されているため。	北海道の冬季観光は、海外から「JAPOW（Japan Powder Snow）」と称賛される質の高い雪を目的としたスキー・スノーボード客によって牽引されています。加えて、さっぽろ雪まつりなどの冬のイベントも国際的な認知度が高まっており、これらが2012年から2016年にかけての宿泊者数急増の主な要因となりました。一方、北海道には本州のような梅雨がほとんどないため、天候を理由とした夏季の敬遠は当てはまりません。
問12	答え 3 国後島	国後島は、北海道の知床半島の東側に位置する島です。択捉島、色丹島、歯舞群島と合わせて北方領土と呼ばれます。北方領土の中で択捉島に次いで2番目に大きな面積を持ち、根室半島の先に位置する歯舞群島や色丹島などとともに、一度も外国の領土になったことがない日本固有の領土ですが、第二次世界大戦の終結直後に当時のソ連によって占拠されました。